

2023年3月31日  
SOMPOホールディングス株式会社

## ～あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現するために～ SOMPOホールディングス「認知症バリアフリー宣言」を策定

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役会長：櫻田 謙悟、以下「当社」）は、認知症の方やそのご家族が安心・安全・健康に暮らせる認知症バリアフリー社会の実現を目指し、「認知症バリアフリー宣言<sup>※1</sup>」を策定のうえ公表しました。これにより、2023年3月末時点でのグループ会社の策定は6社となりました。今後もグループを挙げて地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

### ※1「認知症バリアフリー宣言」の概要

日本認知症官民協議会は、「地域共生社会」の実現に向けて認知症バリアフリーの取り組みを進める企業・団体等の組織に対して、認知症バリアフリー宣言組織としてロゴマークの付与やWebサイトでの公表を行っています。それにより、認知症の方やそのご家族等が安心して生活できる環境を提供するとともに、企業・団体等の認知症バリアフリーの取り組みの推進に寄与し、認知症バリアフリー社会の機運を醸成することを目的としています。



## 1. 背景と目的

超高齢社会である日本では、65歳以上の高齢者人口が年々増加しており、2021年には3,640万人と過去最多となりました。また、総人口に占める高齢者人口の割合についても、2021年の29.1%から2040年には35.3%まで上昇すると予測されています<sup>※2</sup>。そして、この高齢化における社会問題と切り離すことができないのが「認知症」です。今後も高齢化が進んでいくにつれ、認知症の患者数もさらに膨らんでいくことはすでに予想されており、認知症への正しい理解と生活のあらゆる場面での障壁を減らしていくことが求められています。

SOMPOグループでは、SOMPOのパーパスである”安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会の実現に向け、2018年から「SOMPO認知症サポートプログラム<sup>※3</sup>」を展開しています。グループ各社で「認知症バリアフリー宣言」を展開することにより、認知症共生社会への機運を醸成するとともに、取り組みを継続的に行っていきます。

※2 出典元：総務省統計局HP「統計からみた我が国の高齢者」

<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1291.html>

※3 「SOMPO認知症サポートプログラム」については、以下の特設サイトをご参照ください。

<https://www.sompo-egaclub.com/sompo-dementiasupportprogram/>

## 2. 宣言内容

当社は、認知症の方やそのご家族が安心・安全・健康に暮らせる認知症バリアフリー社会の実現を目指します。そのために、次の取り組みを継続的に実施します。

### (1) 人材の育成

当社は、当社およびグループ各社がこれまで取り組んできた認知症サポーター養成講座の受講を推進し、認知症サポーターの養成を通じて、認知症バリアフリーを担う人材を育成していきます。

#### 【認知症サポーターの養成講座の様様】



認知症について正しい知識を持ち、認知症の方やご家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めています。

(2) 地域連携

当社は、認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会をグループ全体で目指すための取り組みである「SOMPO認知症サポートプログラム」を推進しています。SOMPOならではの認知症に関する各種ご提案・サービスの提供等を通じて、各地域における関係機関との連携を強化していきます。

【認知症を考えるセミナーの開催】



毎年9月のアルツハイマー月間に「共に生きる〜認知症を考えるセミナー〜」を開催しています。

【“Talk with” 話そう。認知症のこと。】



『“Talk with” 話そう。認知症のこと。』をコンセプトに認知症への理解を広める取り組みを行っています。

【SOMPOスマイル・エイジングプログラム】



高齢者の生活習慣改善を通じて認知機能低下を予防するオンラインプログラムを、SOMPOケアが運営するサービス付き高齢者向け住宅に順次導入を開始しています。

【カロリンスカ研究所 キビペルト教授とのアドバイザー契約締結】



認知機能低下の予防に資する高齢者の生活習慣への介入研究分野における第一人者であるカロリンスカ研究所<sup>※3</sup>のミリア・キビペルト教授とアドバイザー契約を締結しています。  
 ※3 カロリンスカ研究所は、ノーベル生理学・医学賞の選考委員会がある世界最大の医学系教育研究機関です。

(3) 社内制度

当社は、介護休暇・介護短時間勤務制度、シフト勤務、テレワーク勤務、介護に関する相談窓口等の認知症を含めた家族介護を支援する社内制度について、社内ツールの充実や周知により認知度を向上させ、各種制度をより活用しやすい環境に整備していきます。

(4) 環境整備

当社は、グループ各社に高齢者（認知症）対応マニュアルの整備や高齢者に配慮した環境づくりを求めています。これらを通じて、認知症の方やそのご家族にとってストレスの少ない環境の整備を進めています。

【SOMPOケアの施設における認知症の方にもやさしいデザインを取り入れたリノベーション】



周囲を認識しやすく会話を促すことが期待できる円卓（左）



各階を表示するエレベーター前のサイン

3. グループ参加企業

2023年3月31日時点で6社が「認知症バリアフリー宣言」を策定し、公表しています。

グループ会社名	宣言月
損害保険ジャパン株式会社	2022年3月
セゾン自動車火災保険株式会社	2022年11月
SOMPOひまわり生命保険株式会社	2023年2月

SOMPOケア株式会社	2023年3月
株式会社プライムアシスタンス	2023年3月
SOMPOホールディングス株式会社	2023年3月

各社の宣言の内容は、以下の日本認知症官民協議会「認知症バリアフリー宣言ポータルサイト」をご覧ください。

<https://ninchisho-barrierfree.jp/search/?fw=>

以上